

4 高等部

(1)高等部の教育目標

- ①健康で明るく素直で、体調管理ができる生徒
(職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。)
- ②自分のことは自分で責任をもってできる生徒
(職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、および生活習慣の形成を図る。)
- ③自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力し、役割を果たそうとする生徒
(望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。)
- ④勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る生徒
(職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労の意欲を高める。)
- ⑤自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す生徒
(集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる。)

(2)教育課程編成の方針

- ①学校・高等部の教育目標を達成するために、生徒の実態に即して指導内容を精選し、具体的に組織だて、適切な指導形態を十分検討し、共通理解のもとに教育課程を編成する。
- ②卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、個別的教育支援計画・個別移行支援計画及び個別の指導計画を作成し、生徒一人一人のニーズに応じた支援・指導を進めるとともに、キャリア教育を通して、勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択・決定する力を培えるよう編成する。

(3)各教科、各領域の指導の重点

普通科

一教育課程 I【視覚障害教育・聴覚障害教育・肢体不自由教育・病弱教育】(準ずる教育・下学年)

①各教科

ア 国 語

- ・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
- ・生徒一人一人の発達段階・生活経験を考慮しつつ、国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

イ 地理歴史

- ・日本及び世界の形成の歴史的な過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

ウ 公 民

- ・広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

エ 数 学

- ・数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
- ・数学的活動を通して、数量や図形などに関する基本的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり、判

断したりしようとする態度を育てる。

オ 理 科

- ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、事件を通して、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

カ 芸 術

- ・芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

<音 楽>

- ・音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
- ・表現及び鑑賞の活動を通して、音楽への興味・関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

<美 術>

- ・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
- ・美術における基礎的、発展的な創造活動及び鑑賞を充実し、豊かな情操を培い、美術への愛好心を養う。

キ 保健体育

- ・心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
- ・生徒の実態や能力に応じた運動を通して、心身の調和を図り、健康・安全で明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

ク 家 庭

- ・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得し、実践する態度を育てる。
- ・家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

ケ 外 国 語

- ・外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ・情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

コ 情 報

- ・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
- ・コンピューター等の情報機器の操作を通して、その役割と機能について理解させ、情報を適切に活用する基礎的な能力を養う。

サ 職 業

- ・働く喜びを感じ、意欲的に取り組む姿勢を育て、社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。
- ・卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択・決定する力を養う。
- ・自らの障害特性が及ぼす影響を受容し、克服していく姿勢を養う。

- ②特別活動…HR活動，学校行事，生徒会活動等の実践を通して，自発性と協調性を持ち，豊かな人間性を育てる。
- ③自立活動…個々の生徒が，自立を目指し，障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また，それぞれが興味関心にあった活動を見つけ，余暇時間を有効に活用できるようにする。
- ④総合的な学習の時間…各教科及び領域・各教科を合わせた指導で等で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ，学習や生活において活かすよう工夫することができるようにする。
- ⑤総合的な探究の時間…探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

普通科 産業コース

一教育課程Ⅱ【知的障害教育】

①各教科

ア 国 語

- ・職業生活、社会生活において必要な国語についての理解を深め、円滑な対人関係を形成するために必要な伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

イ 社 会

- ・社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、より快適な社会生活を送るために必要な能力と態度を育てると同時に、職業生活に必要なしくみや手続きの理解を育む。
- ・地域社会の一員としての自覚をもち、社会的な思考力や判断力の育成を図り、公民的資質の基礎を養う。

ウ 数 学

- ・就労現場、社会の一員として行う生活、お金をかせぐ、お金を消費する生活を営む上で必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを実生活で処理し活用する能力と態度を育てる。

エ 理 科

- ・健康・快適・安全に暮らすために役立つ理科的知識の習得と自然を愛する心情を育てる。
- ・日常生活での体験と学習内容とを関連付けて、学んだことを主体的に今後の実生活に生かす態度を養う。

オ 音 楽

- ・表現及び干渉の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育て、生涯を通じて音楽を楽しむことができるようにする。

カ 美 術

- ・造形活動によって、自己表現をいっそう豊にし、鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。

キ 保健体育

- ・将来の余暇活動も視野に入れた適切な運動の経験や健康・安全についての理解をとして、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

ク 職 業

- ・勤労の意義についての理解を深め、企業就労による自立と社会参加、ならびに社会貢献を目指す態度を育む。
- ・仕事に責任を持ち、他の物と協力して働く技能と態度を身につける。
- ・企業就労現場に必要な態度や体力を身につける。
- ・産業現場等での実習を通して、職業生活に必要な実践的な知識・技能・態度を育む。

ケ 家 庭

- ・明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な知識と技能の習得をはかる。
- ・生活に関連する職業についての基礎的な知識と実践的な能力を育む。

コ 外 国 語

- ・外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。
- ・観光産業現場等で必要となる接客英語の基礎的な能力を育む。

サ 情 報

- ・コンピューター等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力と態度を育てる。
- ・産業現場で用いられる情報機器の基礎的な操作の習得を図る。
- ・情報モラルの知識を身に付け、情報通信ネットワークを介したコミュニケーションの特徴について理解を深め、安全に気をつけて適切に利用する知識と態度を身につける。

シ 生活総合（学校設定教科）

- ・卒業後の職業生活・家庭生活・社会生活において、生活を豊かにし様々な役割を果たすために、必要となる問題解決的な資質・能力を、実際の場面や状況に即して課題を発見し、解決する学習を通して身につける。

②各領域

ア 道 徳

- ・学校生活全般を通し、健全な社会生活を営む上で必要な道德心と規範意識を高め、自己指導力を身につけ、善悪を判断し、責任をもって自主的・自立的に行動できるようにする。
- ・目標を持ち、達成に向けてねばり強く努力する態度を育む。
- ・自己の特長を知り、自己理解を深めるとともに、悪い所は改め自己の向上を図ろうとする素直で誠実な態度を育む。

イ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

ウ 自立活動

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。

③各教科等を合わせた指導

ア キャリアガイダンス

- ・働くことの意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリアを設計していくための基礎的な知識と態度を身につける。
- ・企業就労現場で求められる態度やマナーを理解し身につけるとともに、他者と協調して働くために必要な知識、技能、態度を身につける。
- ・自己理解を深め、企業就労や社会生活を送る上での障害による種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。
- ・企業就労をする上で求められる生活習慣と健康管理の知識と技能を身につけると同時に、体力の向上を図る。

- ④総合的な探究の時間・・・探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

普通科 普通コース

—教育課程Ⅱ【知的障害教育・知的代替】・教育課程Ⅲ【自立活動を主とした教育課程—

①各教科

ア 国 語

- ・生徒一人一人の発達段階・生活経験を考慮しつつ、生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を豊かにし、それらを適切に活用する態度を育てる。

イ 社 会

- ・社会の仕組みや働きについて、関心を持ち、理解を深め、より快適な社会生活を送るために必要な能力や態度を養う。

ウ 数 学

- ・生活に必要な数量、時間、金銭などに関する理解を深め、それらを活用する場面をもうけることで、実生活上で汎用する能力を身につける。

エ 理 科

- ・健康・快適・安全に暮らすために役立つ理科的知識の習得と自然を愛する心情を育てる。
- ・日常生活での体験と学習内容とを関連付けて、学んだことを主体的に今後の実生活に生かす態度を養う。

オ 音 楽

- ・歌唱、器楽、身体表現、鑑賞等の音楽活動を通して生涯にわたって音楽に親しむ態度を育てる。音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自ら表現する能力を高める。
- ・音楽を通して情緒の安定を図り、豊かな情操を育てる。

カ 美 術

- ・様々な素材を使ってのしく表現する力を育てる。
- ・基本的な道具を正しく扱うことができる。
- ・造形活動を通して、創造し工夫する力を育てるとともに、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。

キ 保健体育

- ・生徒の実態や能力に応じた運動を通して、心身の調和を図り、健康・安全で明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

ク 職 業

- ・働く喜びを感じ、意欲的に取り組む姿勢を育て、社会生活に必要な知識、技能、態度を養う。

ケ 家 庭

- ・明るく豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

コ 外 国 語

- ・英語の歌やゲームを楽しみ、外国の人々との交流を通して、異文化への興味・関心を広げる。

サ 情 報

- ・コンピューター等の情報機器の操作の習得を図る。
- ・生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。

シ ライフキャリア（学校設定教科）

- ・卒業後の家庭生活・社会生活において、生活を豊かにし様々な役割を果たすために、理科・外国語・情報等の基礎的・基本的な知識・技能・態度を養う。

②各領域

ア 道徳

- ・学校生活全般を通し、青年期の特性を考慮して、健全な社会生活を営む上で必要な道徳心を高めることに努める。

イ 特別活動

- ・HR活動，学校行事，生徒会活動等の実践を通して，自発性と協調性を持ち，豊かな人間性を育てる。

ウ 自立活動

- ・個々の生徒が，自立を目指し，障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な基本的な態度及び習慣を養う。また，それぞれが興味関心にあった活動を見つけ，余暇時間を有効に活用できるようにする。

③各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- ・基本的生活習慣の形成を図り，自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに，日常生活に必要な技能や態度を身につける。
- ・日常生活に必要な身近処理能力を身につけ，基本的生活習慣の定着を図る。

イ 生活単元学習：

- ・生活上の目標を達成するために，行事等の活動を通して，生徒個々の課題解決に取り組む。
- ・自立を目指し積極的に社会参加する生活力を育てるとともに，自主性や適応性を高める。
- ・いろいろな事柄への興味関心を深め，生活経験を広げ，生活上の望ましい習慣や態度を養う。

ウ 作業学習

- ・作業学習を通して，個々の生徒が豊かな社会生活を送れるように，体力の向上を図り，長時間継続して働く力を育む。また，意欲的に働く態度を培い，協調性を育て，基本的な技術を身につけ生活する力を高める。

④総合的な学習の時間

- ・各教科および領域・各教科等を合わせた指導で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ，学習や生活において活かすよう工夫することができるようにする。

⑤総合的な探究の時間

- ・探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

—教育課程IV—【訪問教育：学齢児及び過年度卒】

★訪問教育は，障害が重度・重複していて通学困難な生徒に対して，教員が家庭，児童福祉施設，医療機関等を訪問して指導する。

★訪問教育は，生徒の実態や障害の特性に応じて各教科等の内容を検討し，個々に合わせた指導が進められるようにする。

①教育方針

- ・生徒の実態に即して教育内容を精選し，指導の充実に努める。
- ・個別の教育支援計画を作成し，保護者等との連携を密にし，弾力的に運用する。

②重点目標

- ・健康の保持増進
- ・運動機能の向上を図る
- ・五感への刺激を通じた自発性の向上

③指導体制

- ・ 自立活動を主とした指導を行い、実態に応じて学習活動を行う。
- ・ 健康や個々の実態に十分留意し、状況に応じて柔軟にスクーリングを実施する。
- ・ スクーリングは主に学部行事等や他の学習グループの授業への参加とする。

(4)生徒指導の重点

- ① 基本的生活習慣の形成と確立を図り、積極的、自主的な行動ができるようにする。
- ② 集団の規律やマナーを守る態度を養う。
- ③ 社会人としてふさわしい生活習慣を身につける。
- ④ 自立し社会参加するために、地域の交通手段を活用する知識や態度・技能を身につける。
- ⑤ 生活指導を要する生徒について、個別かつ総合的な助言や指導を行ない、家庭や施設との連携を密にし、指導の充実に努める。

(5)安全教育の重点

- ① 生命尊重の基本において、自他の生命を守る能力を育てる。
- ② 安全に関するきまりや、安全な行動の仕方を実践的に理解し、身につける。
- ③ 危険の予測と場に応じた適切な判断力を育てる。
- ④ 情緒の安定を図るとともに、自己統制力を育てる。
- ⑤ 個人又は集団の健康について理解を図る。
- ⑥ 健康の大切さを知らせ、健康の保持と増進に努める態度を育てる。

※性に関する指導は、生徒個々の特性や実態をふまえ、生理的側面、心理的側面、社会文化的側面から、指導を行い、自他の性について認識を深め、大切さを理解させる。

(6)キャリア教育の重点

生徒の個々の実態を把握した上で、就業体験や学級での指導をはじめ教育活動全体を通して、将来可能な限り自立した社会参加するのに必要な知識、技能、態度をみにつけさせる。

家庭や施設・関係機関及び地域社会と連携を取り、個々の生徒の希望や能力、適性に合った進路が選択できるように情報提供し、社会へ意欲的に参加する態度を養い、適応力を向上させる。

(7)交流及び共同学習の重点

県内外及び近隣の諸学校との交流活動や、地域社会の諸団体等との交流を通して、豊かな人間性を形成し、社会参加する態度を養う。

(8)生涯学習への意欲を高める指導の重点

多様な社会体験や、日常生活に根ざした課題解決学習を通して、主体性を持って物事に取り組みやり遂げる力、コミュニケーション能力や社会性を育む。